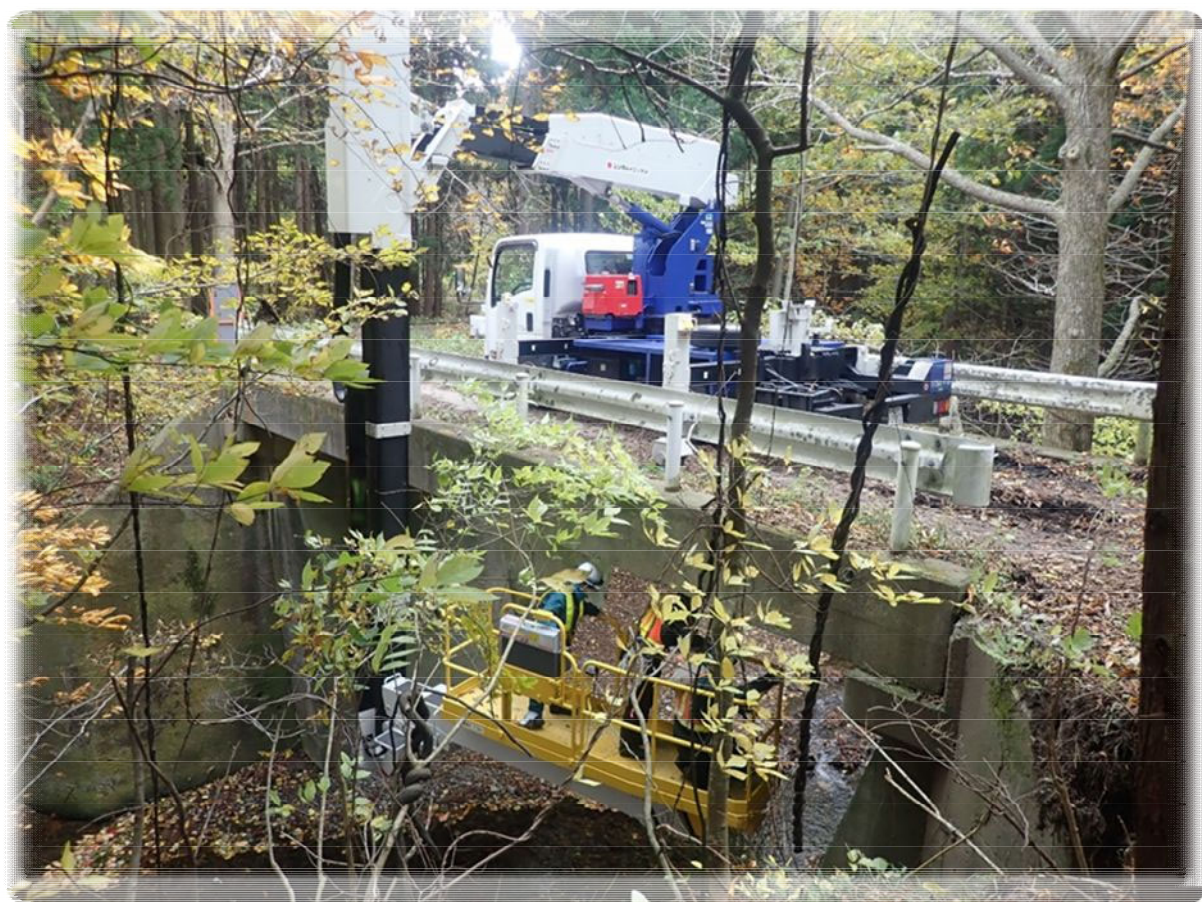


〔道路メンテナンス年報〕
青森の道路メンテナンス概要



2025年3月
青森県道路メンテナンス会議

まえがき

青森県内の国道や高速道路、県道（有料道路含む）、市町村道の道路延長は約 20,200 kmにおよび、その中には約 7,000 橋の橋梁、約 60 箇所トンネル、約 350 施設の道路附属物等があります。また、その道路構造物の多くが高度経済成長期に建設され、建設後 50 年を経過した道路施設の老朽化は急速に進行している状況です。

建設後 50 年を経過した橋梁は、2023 年 3 月末時点で約 1,600 橋、全体の 32%であり、20 年後には 79%の約 4,000 橋まで増加するため、老朽化対策の課題に早期に取り組むことが求められています。

このような状況の中、道路施設のメンテナンスサイクルの構築に向け 2014 年度から定期点検が義務化され、各道路管理者により計画的に点検が実施されたところです。引き続き、定期点検を計画的に進めるとともに、点検結果を踏まえ個別施設ごとの長寿命化修繕計画を策定しながら補修・修繕等を進めていくこととしています。

「青森県道路メンテナンス会議」は、県内の道路管理者が連携しながら道路インフラの予防保全や老朽化対策の体制強化を図るため 2014 年度に設立しました。これまでに道路施設の定期点検計画の策定や、点検研修、修繕工事の現場見学会等を実施し、市町村への技術支援に取り組んできたところです。今後も引き続き、老朽化対策の着実な推進に向け新技術を活用するなど、点検結果を踏まえた補修・修繕等を継続的に実施していきます。

「青森の道路メンテナンス概要」は、青森県道路メンテナンス会議の取り組みの一環として、県内の道路施設の老朽化の実態やメンテナンスの取り組みについてとりまとめ、県民や道路利用者に情報発信するとともに、今後の措置方針立案に繋げていくものです。

青森県道路メンテナンス会議 会長
(青森河川国道事務所長) 大石 珠希

目 次

1	道路構造物の現状	1
(1)	道路構造物の管理者	1
(2)	道路構造物の急速な老朽化	1
2	青森の道路メンテナンス概要について	2
(1)	概要	2
(2)	橋梁・トンネル・道路附属物等の健全性の診断について	2
3	橋梁・トンネル・道路附属物等の点検結果	3
(1)	2巡目（2019～2023年度）の点検結果（全道路管理者）	3
(2)	2巡目（2019～2023年度）の点検結果（管理者別）	5
(3)	判定区分Ⅰ・Ⅱの施設の5年後の判定区分Ⅲ・Ⅳへの遷移状況	11
(4)	過年度の点検（2014～2023年度）の実施設の判定区分ごとの施設数と割合	14
(5)	過年度の点検（2014～2023年度）の点検結果（全道路管理者）	17
(6)	過年度の点検（2014～2023年度）の点検結果（管理者別）	18
4	判定区分Ⅲ、Ⅳの施設の修繕等措置の実施状況	20
(1)	1巡目点検（2014～2018年度）の実施設における修繕等措置の実施状況	20
(2)	2巡目点検（2019～2023年度）の実施設における修繕等措置の実施状況	24
(3)	過年度の点検（2014～2023年度）の実施設における修繕等措置の実施状況	27
(4)	判定区分Ⅳの施設の措置状況	30
(5)	修繕等措置の取り組み事例	31
5	道路メンテナンス会議の取り組み	36

1 道路構造物の現状

(1) 道路構造物の管理者

県内の道路には、橋梁やトンネル、道路附属物等といった道路構造物があります。このうち、橋梁の施設数が最も多く、約6割を市町村で管理しています。

表1-1 道路管理者別の道路構造物等内訳

管理者	道路延長 (km)	橋梁 (橋)	トンネル (箇所)	道路附属物等 (施設)	道路附属物等			
					シェッド	大型カルバート	横断歩道橋	門型標識等
国土交通省	330	335	7	147	0	63	35	49
高速道路会社	100	219	6	45	0	37	0	8
県	3,638	2,280	37	114	37	26	23	28
市町村	16,126	4,244	7	41	1	12	19	9
合計	20,194	7,078	57	347	38	138	77	94

※2024年3月末時点
 ※道路延長は「道路統計年報2023」より集計

(2) 道路構造物の急速な老朽化

橋梁やトンネル、道路附属物等といった道路構造物は、その多くが高度経済成長期に建設され、今後、これらの老朽化が急速に進みます。

特に施設数の多い橋梁でみると、建設後50年を経過した橋梁は、現在32%であり、10年後には62%に増加するため、計画的・効率的なメンテナンスサイクルの構築が必要な状況です。

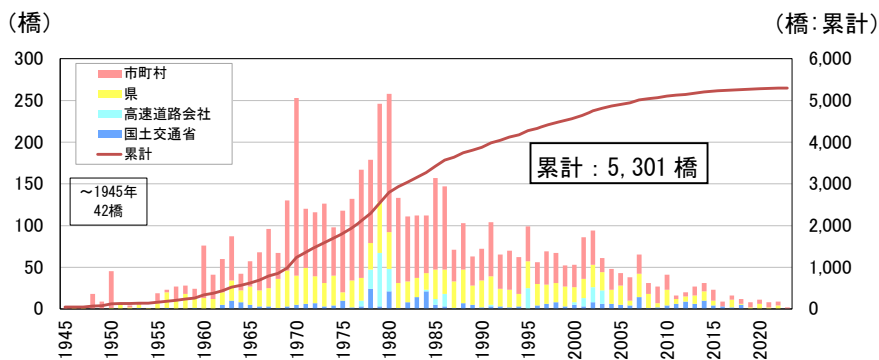


図1-1 建設年代別施設数（橋梁）

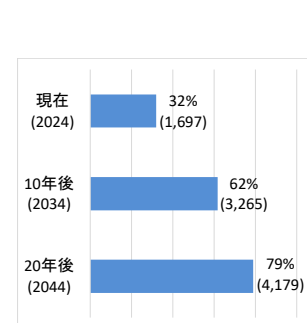


図1-2 建設後50年を経過した施設の割合（橋梁）

※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約1,800橋ある。
 (出典) 道路局調べ (2024.3末時点)

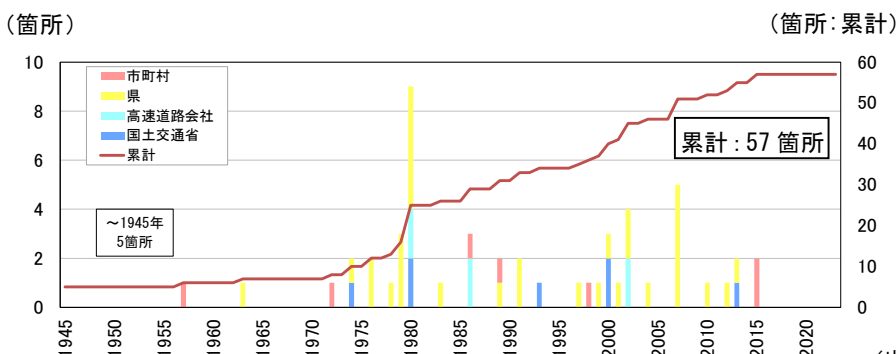


図1-3 建設年代別施設数（トンネル）

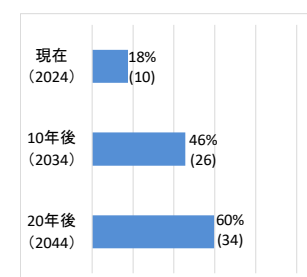


図1-4 建設後50年を経過した施設の割合（トンネル）

(出典) 道路局調べ (2024.3末時点)

2 青森の道路メンテナンス概要について

(1) 概要

- 青森県道路メンテナンス会議では、県民・道路利用者に道路インフラの現状及び老朽化対策についてご理解頂くため、点検の実施状況や結果等を「青森の道路メンテナンス概要」としてとりまとめています。
- 橋梁・トンネル・道路附属物等^{※1}については、2014～2018年度における1巡目点検（以降、1巡目点検）が完了し、2019年度より2巡目の点検に着手しています。
- 今回は、下記についてとりまとめました。
 - 2巡目（2019～2023年度）及び過年度（2014～2023年度）の点検結果^{※2}
 - 1巡目点検（2014～2018年度）、2巡目点検（2019～2023年度）、過年度の点検（2014～2023年度）における修繕等措置状況
- この調査結果は、点検結果を踏まえた今後の措置方針の立案等に活用します。

道路の老朽化の現状はどうなっているのだろうか。

→地域毎のデータ、経年的な変化等、様々な観点から県内の道路施設の老朽化の実態を把握することができます。

今後どのように措置していくのか。

→各道路管理者は、自らの管理施設の老朽化の実態を踏まえ、今後の措置方針を立案していくこととなります。

※1 道路附属物等：シェッド、大型カルバート、横断歩道橋、門型標識等

※2 複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計

※3 本概要で掲載している施設数は、施設を管理する事務所等の所在地（県）で集計しています。

(2) 橋梁・トンネル・道路附属物等の健全性の診断について

全ての道路管理者は、2013年の道路法改正等を受け、2014年7月より5年に1回の頻度で近接目視による点検を実施しています。

健全性の診断は、以下の4段階に区分します。

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じている可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。



写真2-1 橋梁点検状況



写真2-2 トンネル点検状況

3 橋梁・トンネル・道路附属物等の点検結果

(1) 2巡目(2019~2023年度)の点検結果(全道路管理者)

2巡目(2019~2023年度)の累積点検実施率は、橋梁 100%、トンネル 98%、道路附属物等 99%です。

判定区分の割合は、橋梁：I 39%、II 50%、III 10%、IV 0.3%、トンネル：I 0%、II 75%、III 25%、IV 0%、道路附属物等：I 19%、II 69%、III 13%、IV 0.3%です。

※判定区分の割合は四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。(次頁以降も同様)

○2巡目(2019~2023年度)の点検実施率(全道路管理者)

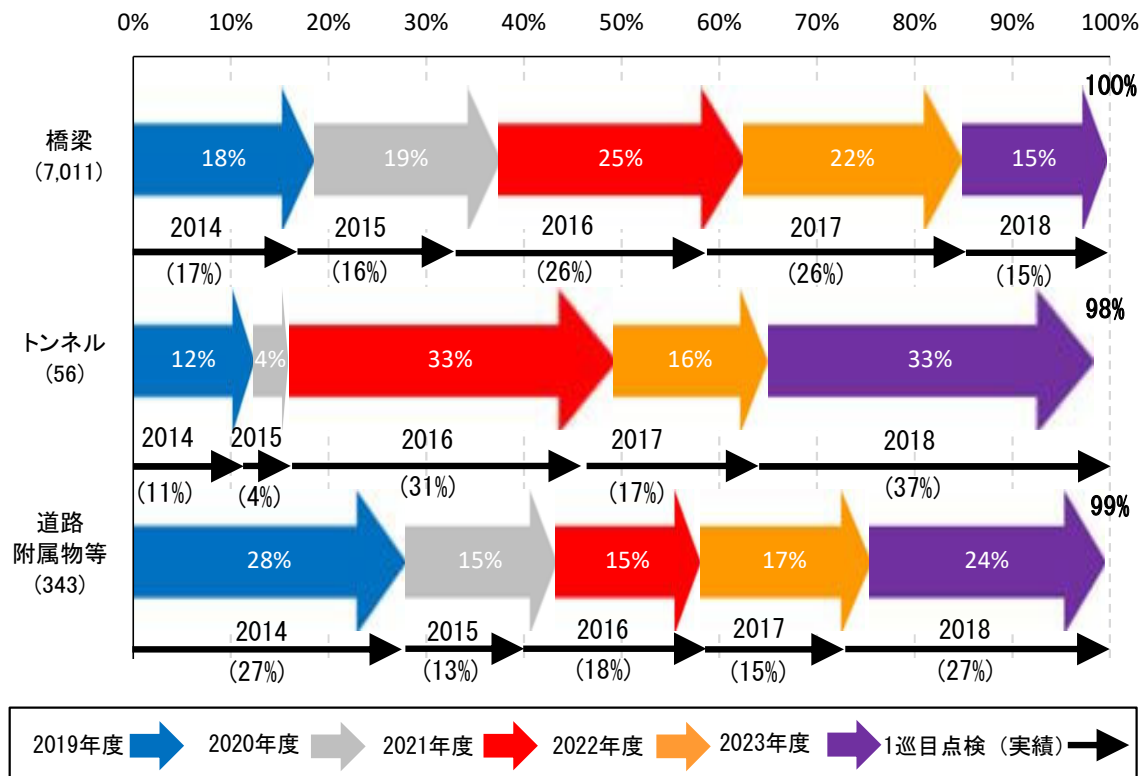


図3-1 2巡目(2019~2023年度)の点検実施率(全道路管理者合計)

※()内は、2019~2023年度に点検を実施した施設数の合計。
※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

表3-1 2巡目(2019~2023年度)の点検実施率(全道路管理者合計)

	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	7,078	7,038	7,011	99.62% (99.76%)
トンネル	57	57	56	98.25% (100.00%)
道路附属物等	347	345	343	99.42% (100.00%)

2024.3末時点

※1：2024年3月時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計。

※2：点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、1巡目(2014~2018年度)における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

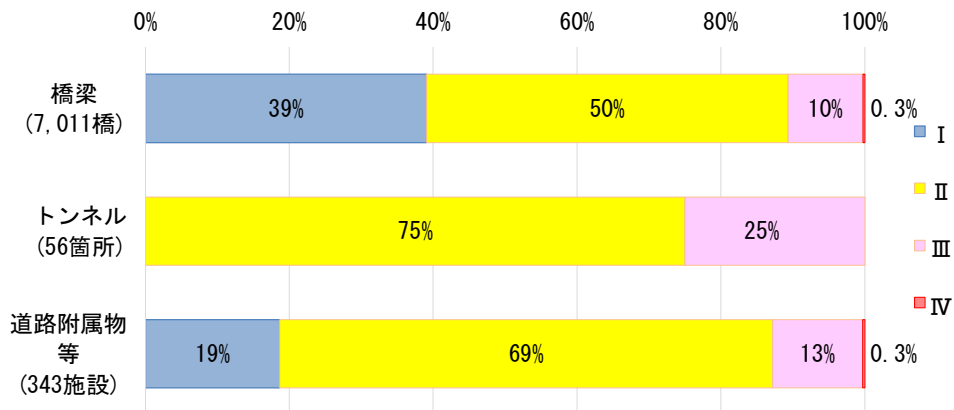


図 3 - 2 2 巡目 (2019~2023 年度) の判定区分の割合 (全道路管理者合計)
 ※ () 内は、2 巡目 (2019~2023 年度) に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

表 3 - 2 2 巡目 (2019~2023 年度) の判定区分の割合 (全道路管理者合計)

	点検実施数	判定区分			
		上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
橋梁	7,011	2,742	3,520	731	18
		39%	50%	10%	0.3%
トンネル	56	0	42	14	0
		0%	75%	25%	0%
道路附属物等	343	64	235	43	1
		19%	69%	13%	0.3%

2024.3 末時点

【参考】1 巡目 (2014~2018 年度) の判定区分の割合 (全道路管理者合計)

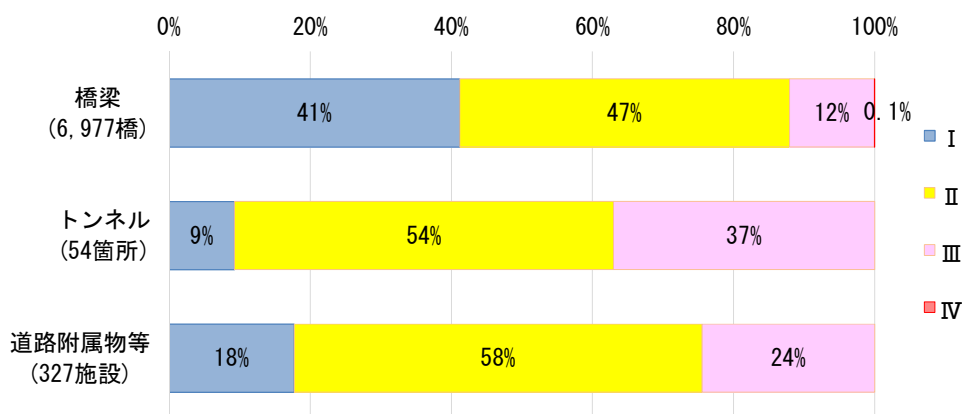


図 3 - 3 1 巡目 (2014~2018 年度) の判定区分の割合 (全道路管理者合計)

※2019 年 3 月時点での集計値
 ※ () 内は、1 巡目 (2014~2018 年度) に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

(2) 2 巡目 (2019~2023 年度) の点検結果 (管理者別)

① 橋梁

橋梁の 2 巡目 (2019~2023 年度) の累積点検実施率は、国土交通省 100%、高速道路会社 100%、県 100%、市町村 99%です。

全管理者の判定区分割合は、I 39%、II 50%、III 10%、IV 0.3%です。

※判定区分の割合は四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

○2 巡目 (2019~2023 年度) の点検実施率 (橋梁)

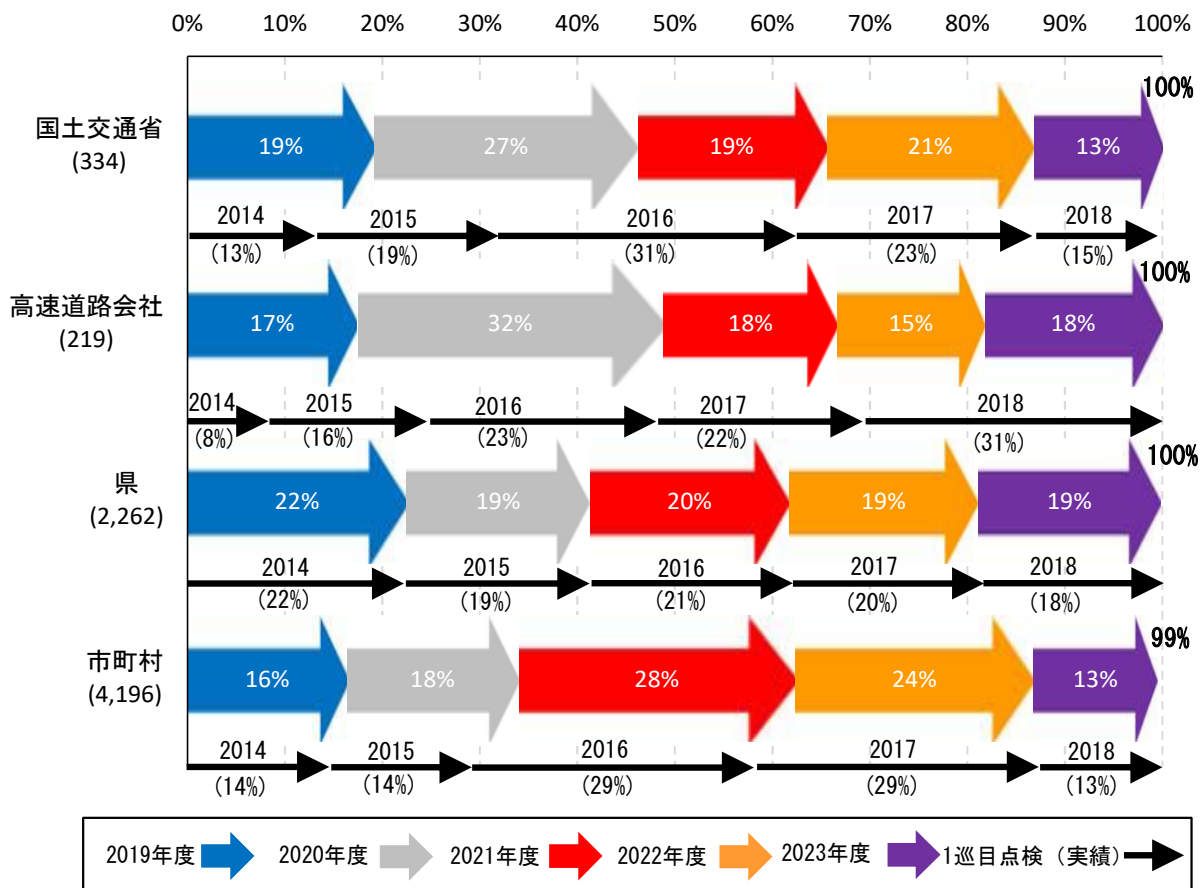


図 3-4 2 巡目 (2019~2023 年度) の点検実施率 (橋梁)

※ () 内は、2019~2023 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

表 3-3 2 巡目 (2019~2023 年度) の点検実施率 (橋梁)

管理者	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
国土交通省	335	334	334	100.00% (100.00%)
高速道路会社	219	219	219	100.00% (100.00%)
県	2,280	2,266	2,262	99.82% (100.00%)
市町村	4,244	4,219	4,196	99.45% (99.60%)
合計	7,078	7,038	7,011	99.62% (99.76%)

※1：2024 年 3 月時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。

※2：点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。() 内は、1 巡目 (2014~2018 年度) における点検実施率。

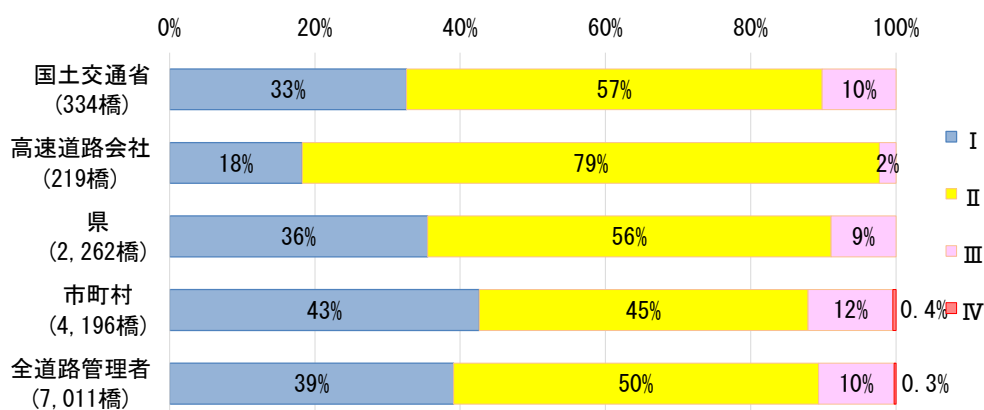


図3-5 2巡目（2019～2023年度）の判定区分の割合（橋梁）

※（）内は、2巡目（2019～2023年度）に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

表3-4 2巡目（2019～2023年度）の判定区分の割合（橋梁）

管理者	点検実施数	判定区分			
		上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
国土交通省	334	109	191	34	0
		33%	57%	10%	0%
高速道路会社	219	40	174	5	0
		18%	79%	2%	0%
県	2,262	804	1,256	202	0
		36%	56%	9%	0%
市町村	4,196	1,789	1,899	490	18
		43%	45%	12%	0.4%
合計	7,011	2,742	3,520	731	18
		39%	50%	10%	0.3%

2024.3末時点

【参考】1巡目（2014～2018年度）の判定区分の割合（橋梁）

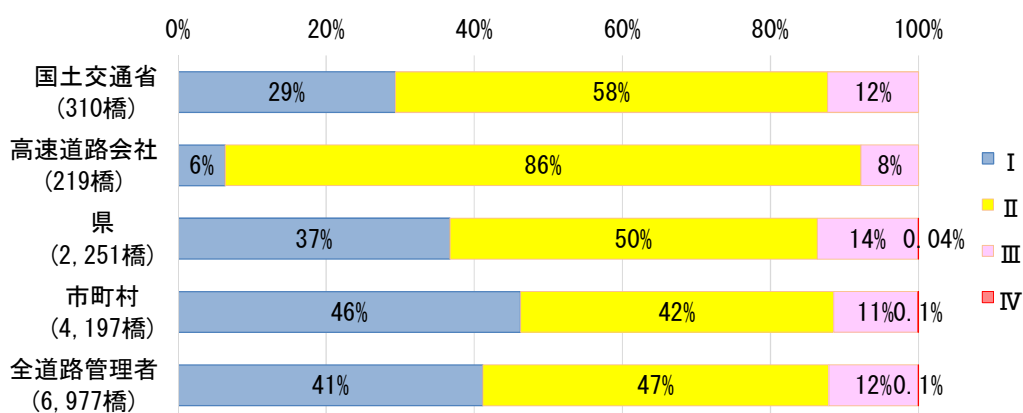


図3-6 1巡目（2014～2018年度）の判定区分の割合（橋梁）

※2019年3月時点での集計値

※（）内は、1巡目（2014～2018年度）に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

②トンネル

トンネルの2巡目（2019～2023年度）の累積点検実施率は、国土交通省 100%、高速道路会社 100%、県 100%、市町村 86%です。

全管理者の判定区分割合は、Ⅰ 0%、Ⅱ 75%、Ⅲ 25%、Ⅳ 0%です。

〇2巡目（2019～2023年度）の点検実施率（トンネル）

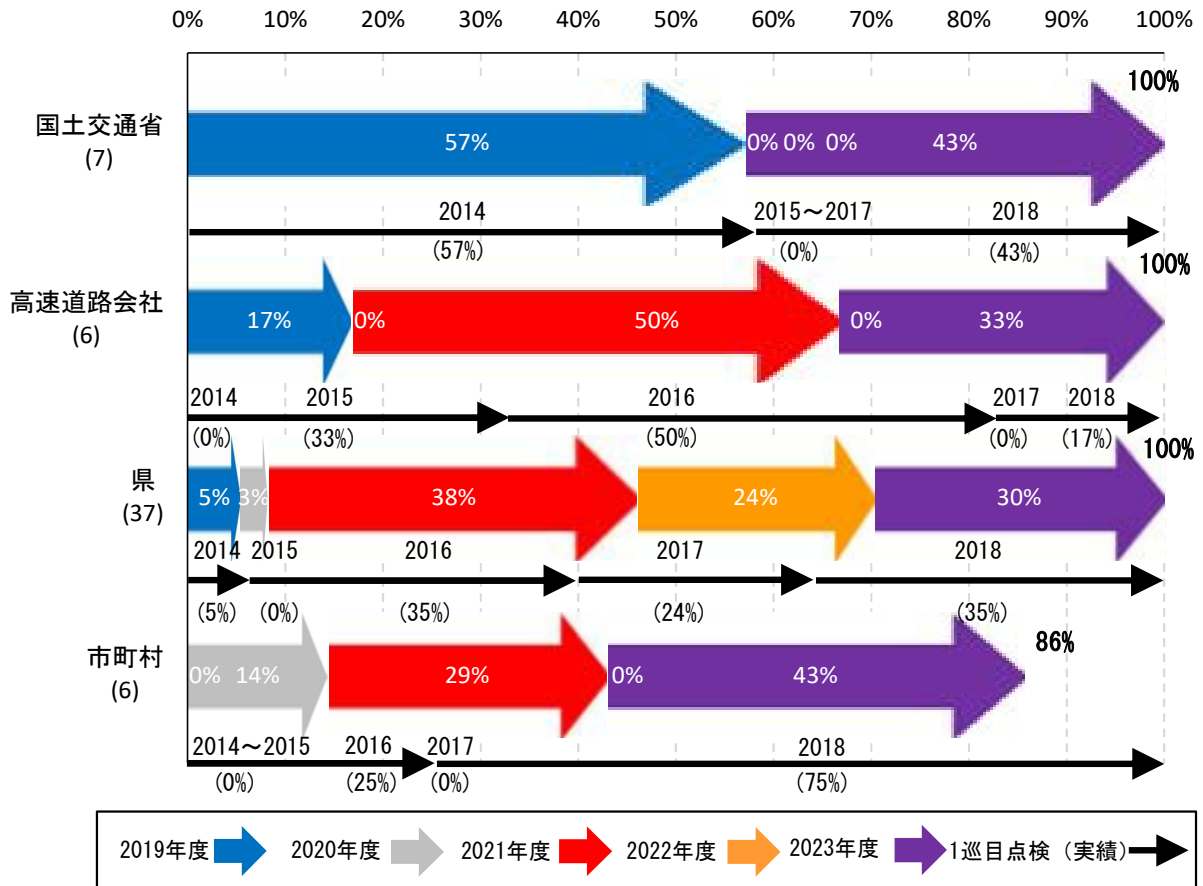


図3-7 2巡目（2019～2023年度）の点検実施率（トンネル）

※（）内は、2019～2023年度に点検を実施した施設数の合計。
※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

表3-5 2巡目（2019～2023年度）の点検実施率（トンネル）

管理者	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
国土交通省	7	7	7	100.00% (100.00%)
高速道路会社	6	6	6	100.00% (100.00%)
県	37	37	37	100.00% (100.00%)
市町村	7	7	6	85.71% (100.00%)
合計	57	57	56	98.25% (100.00%)

※1：2024年3月時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計。

※2：点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。（）内は、1巡目（2014～2018年度）における点検実施率。

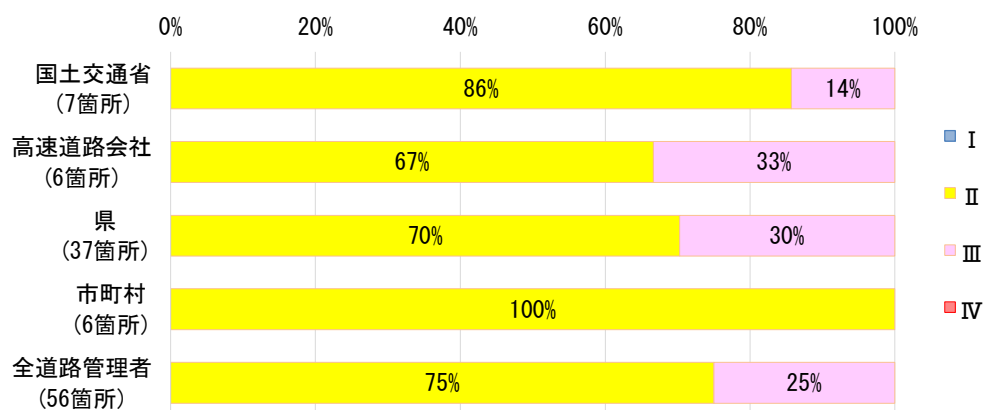


図3-8 2巡目（2019～2023年度）の判定区分の割合（トンネル）

※（）内は、2巡目（2019～2023年度）に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

表3-6 2巡目（2019～2023年度）の判定区分の割合（トンネル）

管理者	点検実施数	判定区分 上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
国土交通省	7	0	6	1	0
		0%	86%	14%	0%
高速道路会社	6	0	4	2	0
		0%	67%	33%	0%
県	37	0	26	11	0
		0%	70%	30%	0%
市町村	6	0	6	0	0
		0%	100%	0%	0%
合計	56	0	42	14	0
		0%	75%	25%	0%

2024.3末時点

【参考】1巡目（2014～2018年度）の判定区分の割合（トンネル）

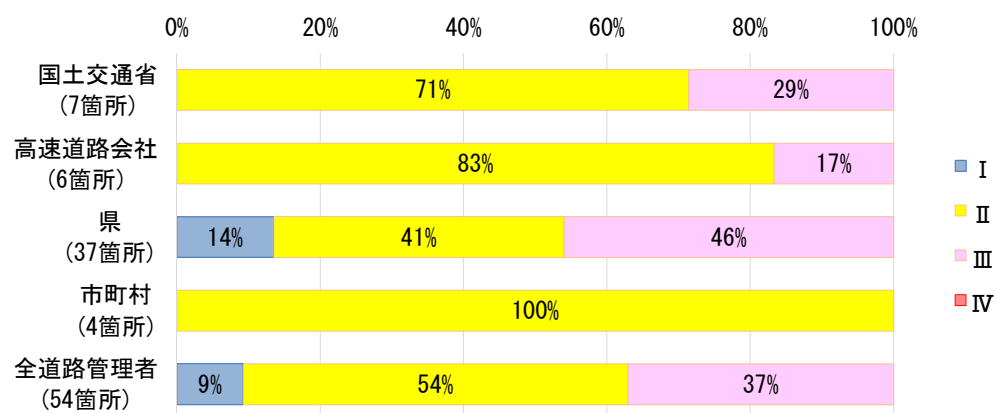


図3-9 1巡目（2014～2018年度）の判定区分の割合（トンネル）

※2019年3月時点での集計値
 ※（）内は、1巡目（2014～2018年度）に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

③道路附属物等

道路附属物等の2巡目（2019～2023年度）の累積点検実施率は、国土交通省100%、高速道路会社100%、県98%、市町村100%です。

全管理者の判定区分割合は、Ⅰ19%、Ⅱ69%、Ⅲ13%、Ⅳ0.3%です。

〇2巡目（2019～2023年度）の点検実施率（道路附属物等）

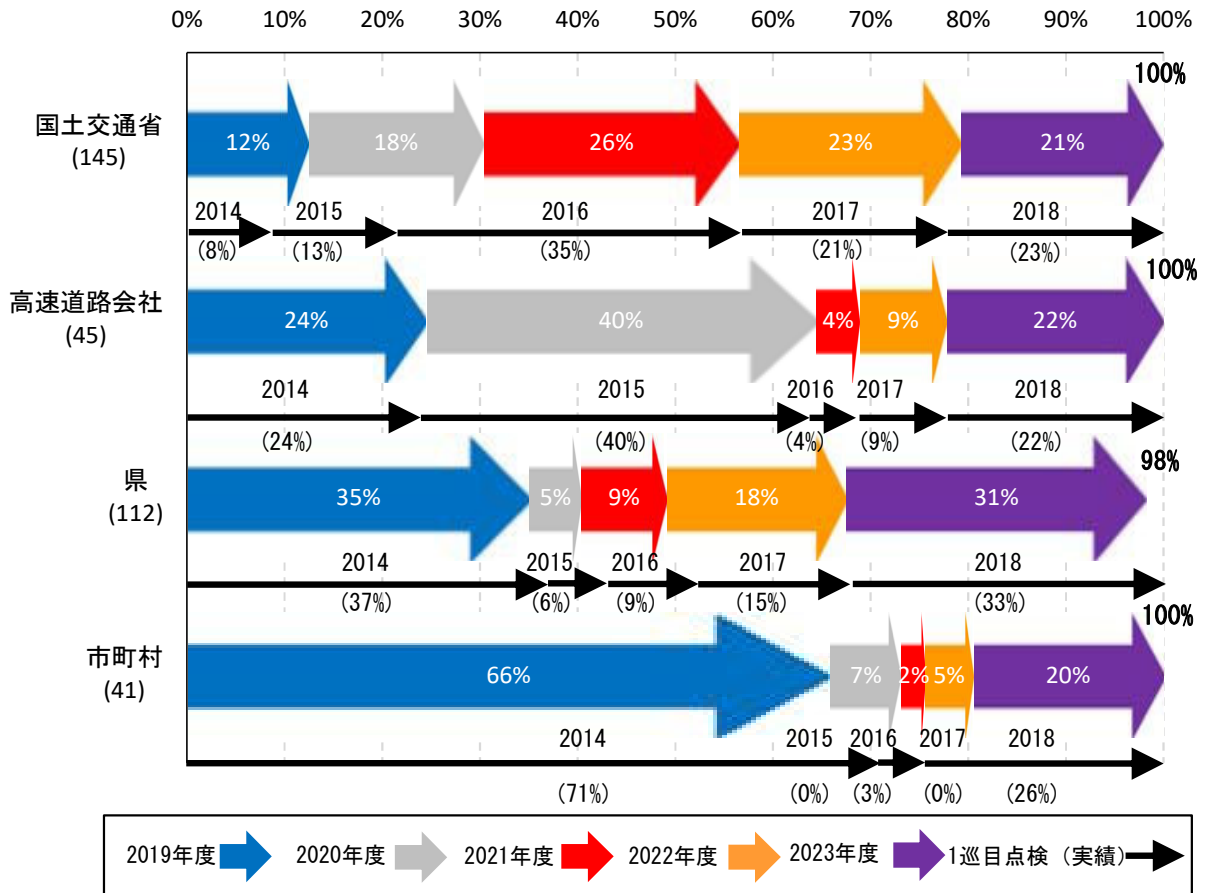


図3-10 2巡目（2019～2023年度）の点検実施率（道路附属物等）

※（）内は、2019～2023年度に点検を実施した施設数の合計。
※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

表3-7 2巡目（2019～2023年度）の点検実施率（道路附属物等）

管理者	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
国土交通省	147	145	145	100.00% (100.00%)
高速道路会社	45	45	45	100.00% (100.00%)
県	114	114	112	98.25% (100.00%)
市町村	41	41	41	100.00% (100.00%)
合計	347	345	343	99.42% (100.00%)

※1：2023年3月時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計。

※2：点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。（）内は、1巡目（2014～2018年度）における点検実施率。

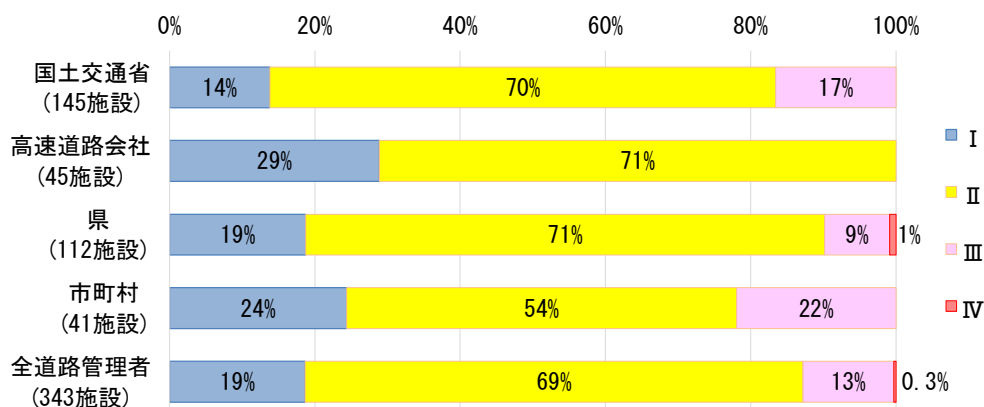


図3-1-1 2巡目（2019～2023年度）の判定区分の割合（道路附属物等）

※（）内は、2巡目（2019～2023年度）に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

表3-8 2巡目（2019～2023年度）の判定区分の割合（道路附属物等）

管理者	点検実施数	判定区分			
		上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
国土交通省	145	20	101	24	0
		14%	70%	17%	0%
高速道路会社	45	13	32	0	0
		29%	71%	0%	0%
県	112	21	80	10	1
		19%	71%	9%	1%
市町村	41	10	22	9	0
		24%	54%	22%	0%
合計	343	64	235	43	1
		19%	69%	13%	0.3%

2024.3 末時点

【参考】1巡目（2014～2018年度）の判定区分の割合（道路附属物等）

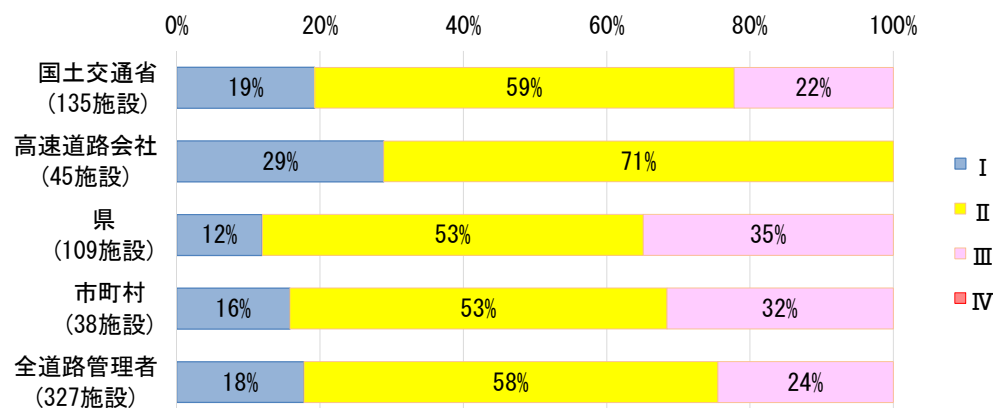


図3-1-2 1巡目（2014～2018年度）の判定区分の割合（道路附属物等）

※2019年3月時点での集計値
 ※（）内は、1巡目（2014～2018年度）に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

(3) 判定区分Ⅰ・Ⅱの施設の5年後の判定区分Ⅲ・Ⅳへの遷移状況

① 橋梁

1巡目の2014～2018年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（判定区分Ⅰ・Ⅱ）に診断された施設のうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2019～2023年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態（判定区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移した割合は、全道路管理者で6%です。

建設後経過年数に比例して、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合が高くなっています。

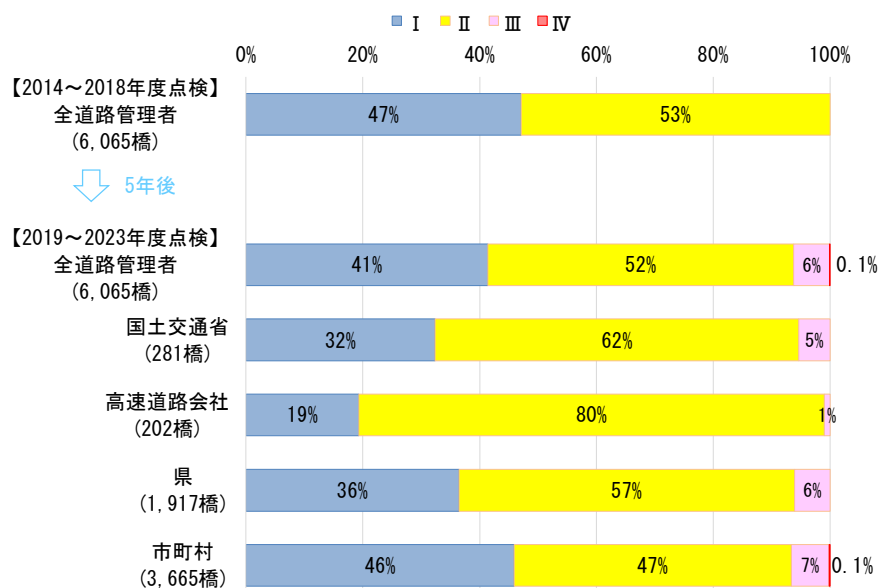


図3-13 管理者別の判定区分の遷移状況

※ () 内は、1巡目（2014～2018年度）の結果が判定区分ⅠまたはⅡとなった橋梁数の内、修繕等の措置を講じないまま5年後の2019～2022年度に点検を実施した橋梁の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

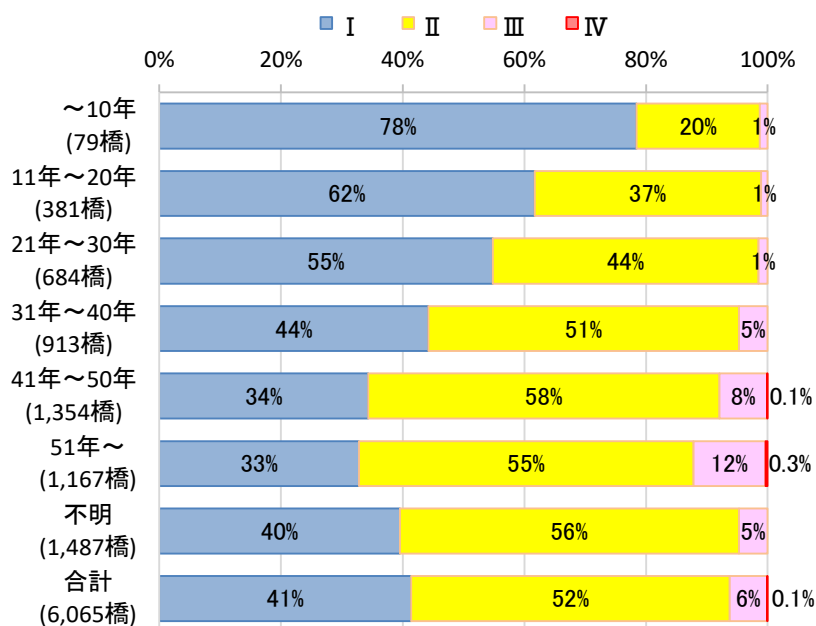


図3-14 建設年数別の遷移状況（全道路管理者）

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

②トンネル

1 巡目の 2014～2018 年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（判定区分Ⅰ・Ⅱ）に診断された施設のうち、修繕等の措置を講じないまま、5 年後の 2019～2023 年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態（判定区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移した割合は、全道路管理者で 18% です。

建設後経過年数が 41 年以上となるトンネルでは、半数以上が判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移しています。

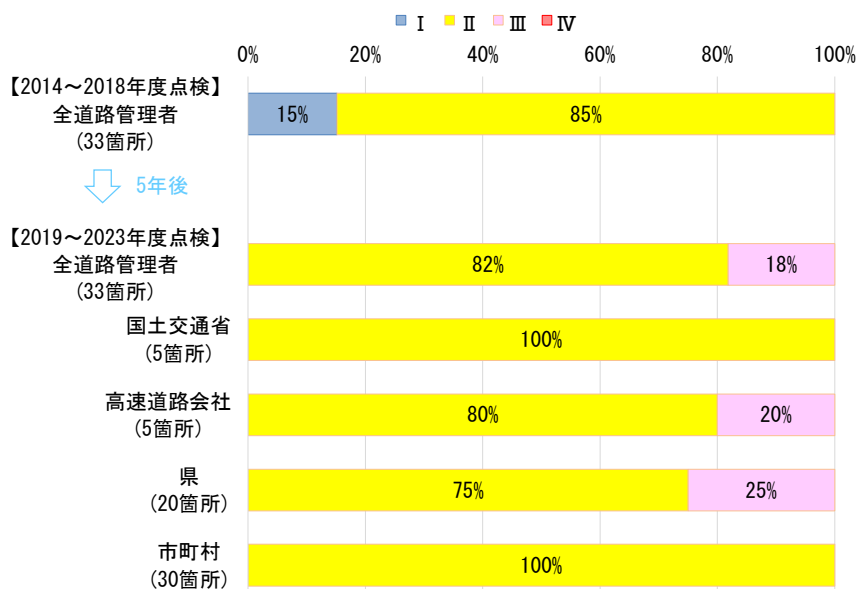


図 3 - 1 5 管理者別の判定区分の遷移状況

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

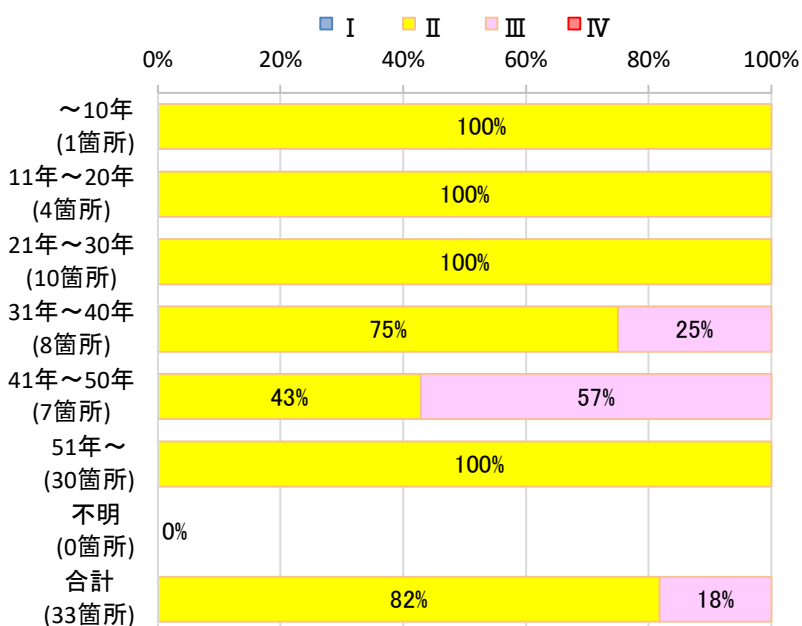


図 3 - 1 6 建設年数別の遷移状況（全道路管理者）

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

③道路附属物等

1巡目の2014～2018年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（判定区分Ⅰ・Ⅱ）に診断された施設のうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2019～2023年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態（判定区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移した割合は、全道路管理者で5%です。

道路附属物等では、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合と建設年数の間に明らかな関係性は見られません。

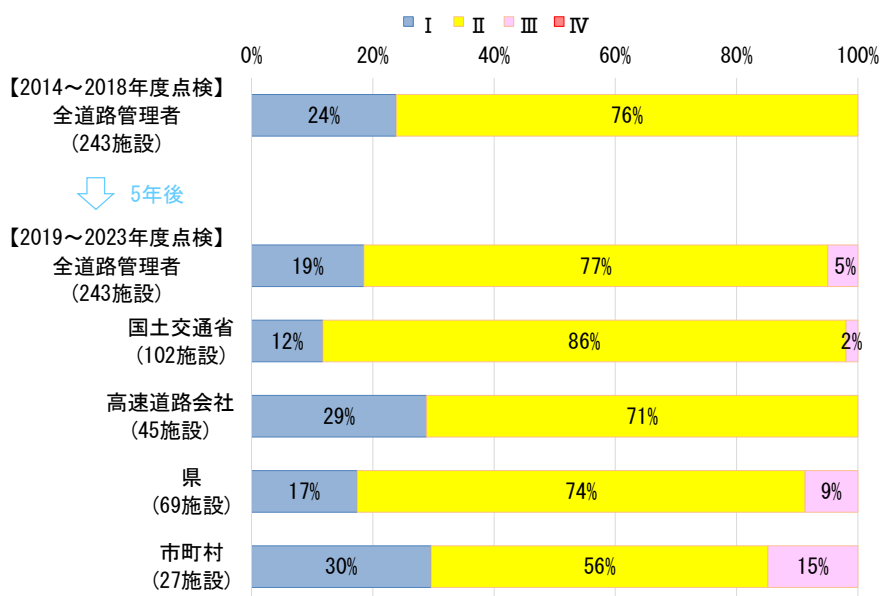


図3-17 管理者別の判定区分の遷移状況

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

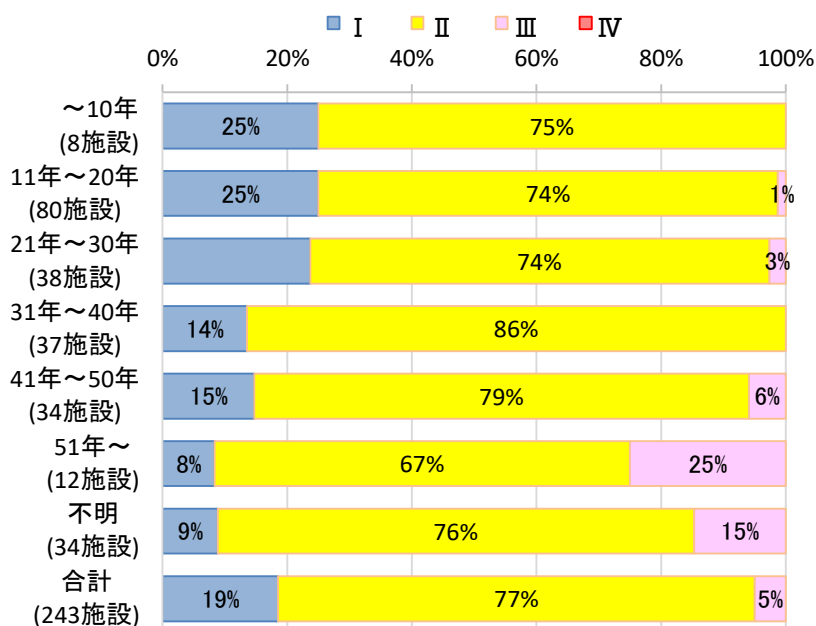


図3-18 建設年数別の遷移状況（全道路管理者）

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

(4) 過年度の点検（2014～2023 年度）の実施施設の判定区分ごとの施設数と割合

① 橋梁

過年度の点検（2014～2023 年度）における判定区分の割合は、I 39%、II 50%、III 10%、IV 0.3%であり、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁は756 橋です。

1 巡目点検結果から推移をみると、判定区分Ⅲ・Ⅳの施設数が減少しています。

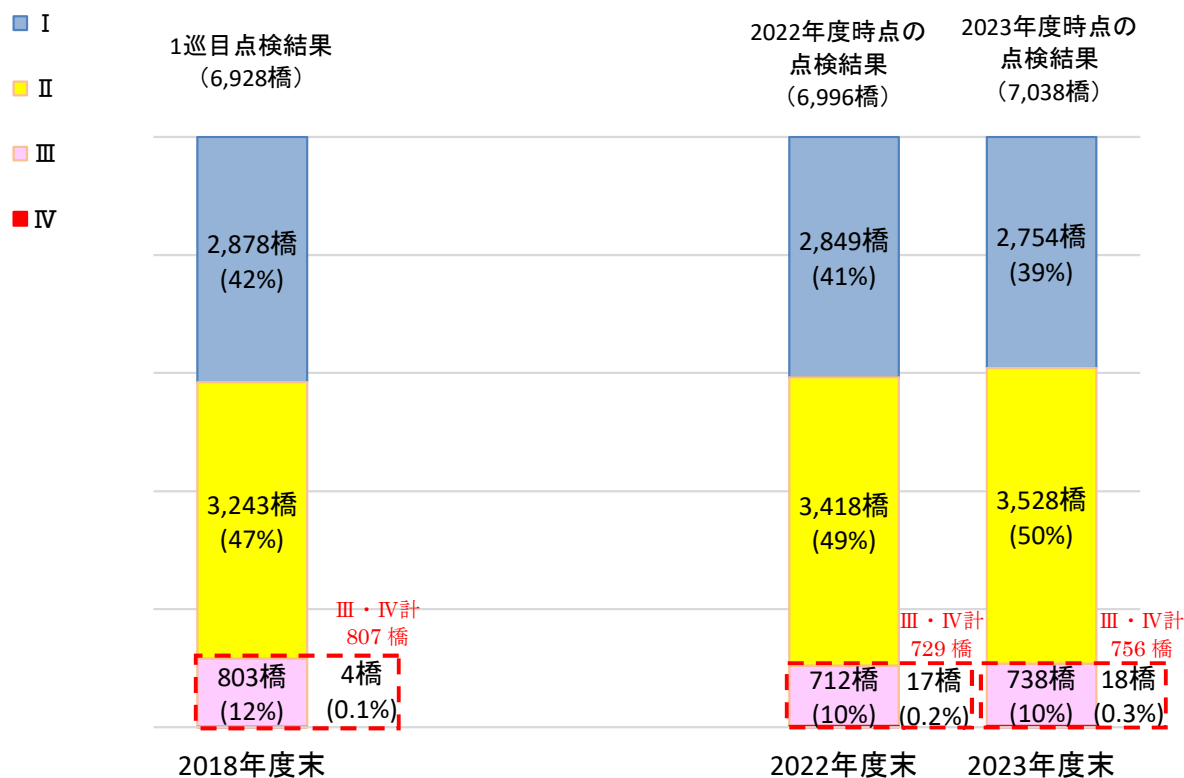


図 3 - 1 9 各年度時点の判定区分の割合（橋梁）

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。
 ※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

②トンネル

過年度の点検（2014～2023年度）における判定区分の割合は、Ⅰ 0%、Ⅱ 75%、Ⅲ 25%、Ⅳ 0%であり、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳのトンネルは14箇所です。1巡目点検結果から推移をみると、判定区分Ⅲの施設数が減少しています。

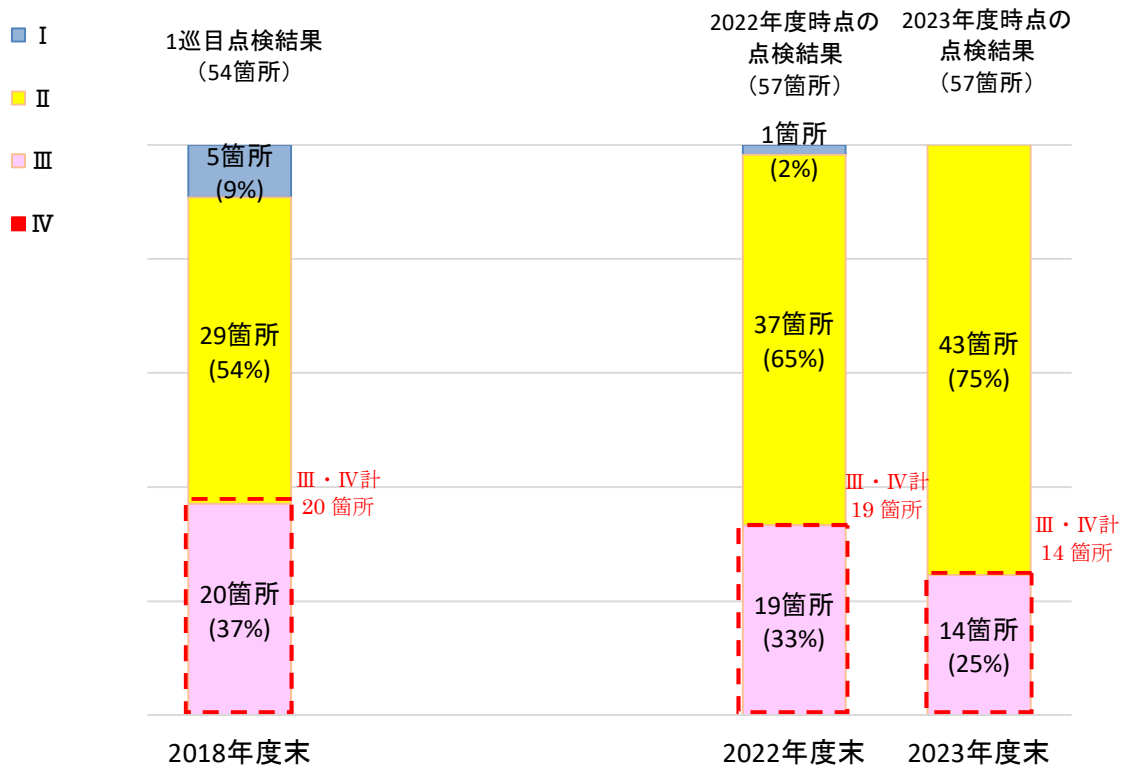


図3-20 各年度時点の判定区分の割合（トンネル）

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。
 ※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

③道路附属物等

過年度の点検（2014～2023年度）における判定区分の割合は、Ⅰ 19%、Ⅱ 69%、Ⅲ 12%、Ⅳ 0.3%であり、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳの道路附属物等は44施設です。

1巡目点検結果から推移をみると、判定区分Ⅲの施設数が減少しています。

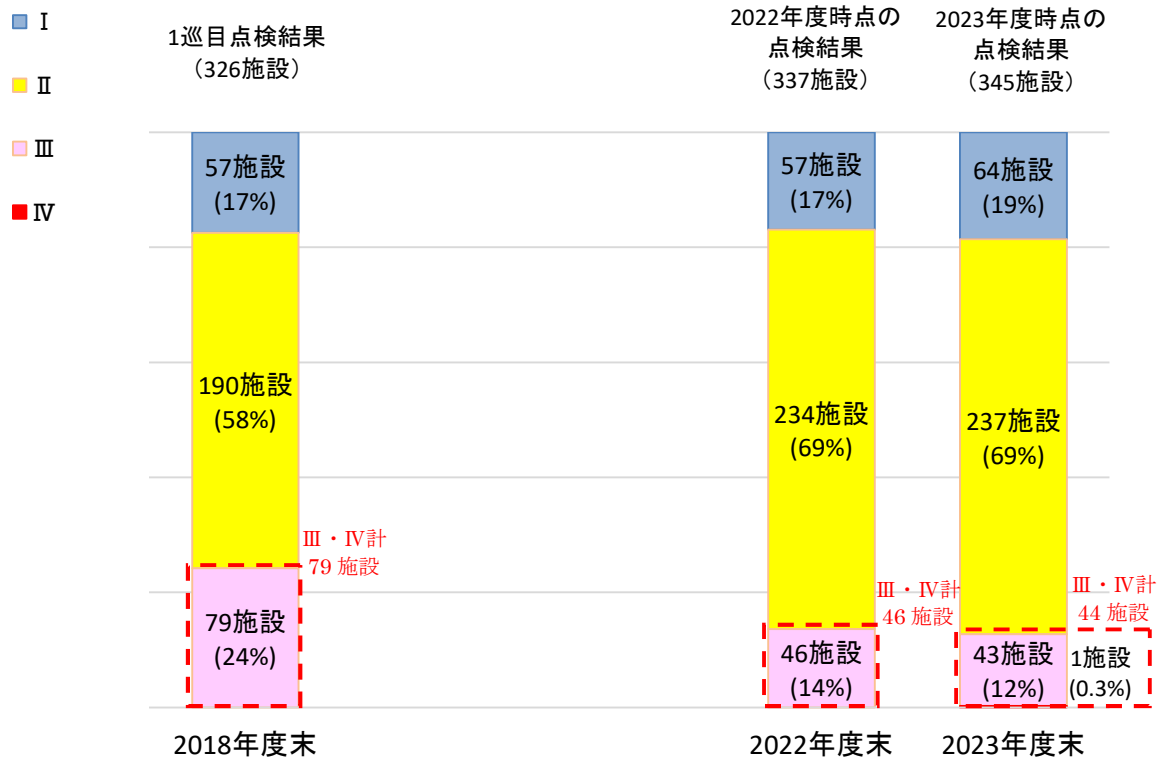


図3-2-1 各年度時点の判定区分の割合（道路附属物等）

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

(5) 過年度の点検（2014～2023 年度）の点検結果（全道路管理者）

過年度の点検（2014～2023 年度）における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 39%、Ⅱ 50%、Ⅲ 10%、Ⅳ 0.3%、トンネル：Ⅰ 0%、Ⅱ 75%、Ⅲ 25%、Ⅳ 0%、道路附属物等：Ⅰ 19%、Ⅱ 69%、Ⅲ 12%、Ⅳ 0.3%です。

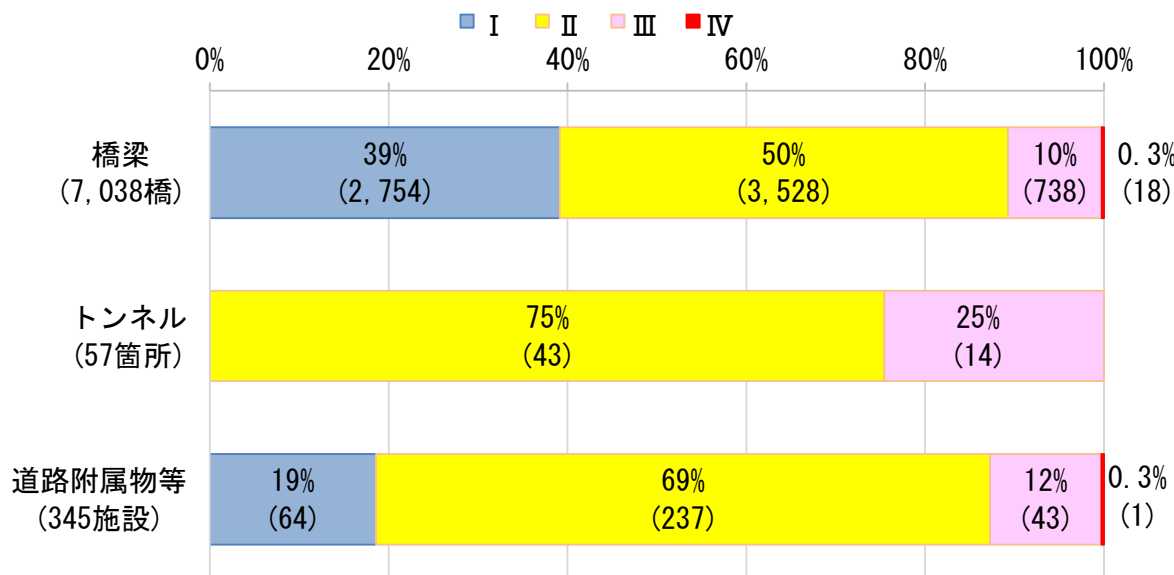


図 3 - 2 2 2023 年度末時点の判定区分の割合（全道路管理者）

※ () 内は、2024 年 3 月末時点の施設数のうち、2014～2023 年度に点検を実施した施設数の合計。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

(6) 過年度の点検（2014～2023年度）の点検結果（管理者別）

1) 国土交通省

過年度の点検（2014～2023年度）における判定区分の割合は、橋梁：I 33%、II 57%、III 10%、IV 0%、トンネル：I 0%、II 86%、III 14%、IV 0%、道路附属物等：I 14%、II 70%、III 17%、IV 0%です。

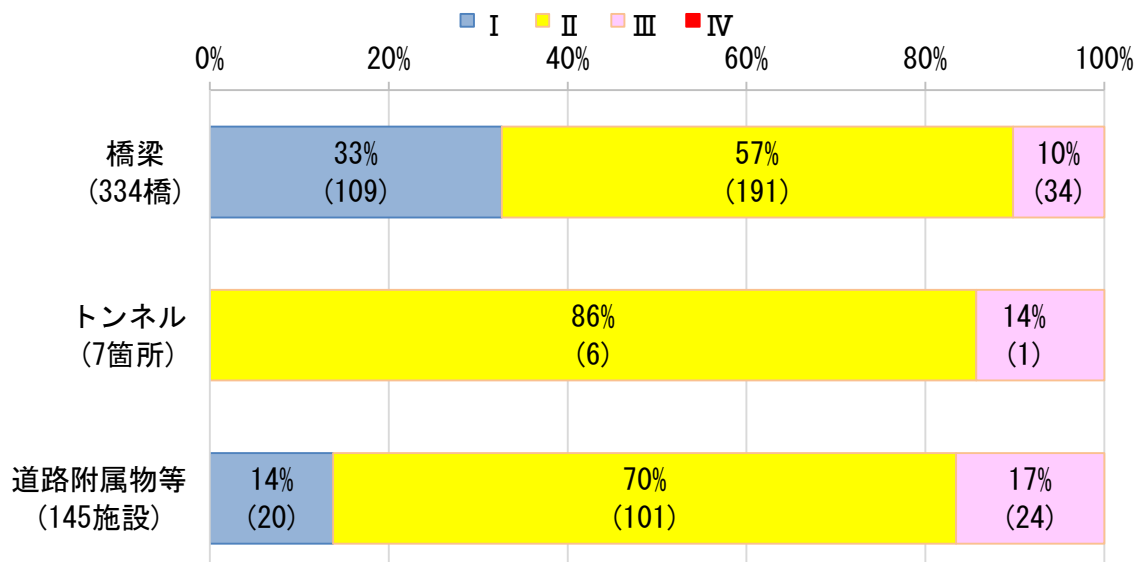


図3-23 2023年度末時点の判定区分の割合（国土交通省）

※（）内は、2024年3月末時点の施設数のうち、2014～2023年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

2) 高速道路会社

過年度の点検（2014～2023年度）における判定区分の割合は、橋梁：I 18%、II 79%、III 2%、IV 0%、トンネル：I 0%、II 67%、III 33%、IV 0%、道路附属物等：I 29%、II 71%、III 0%、IV 0%です。

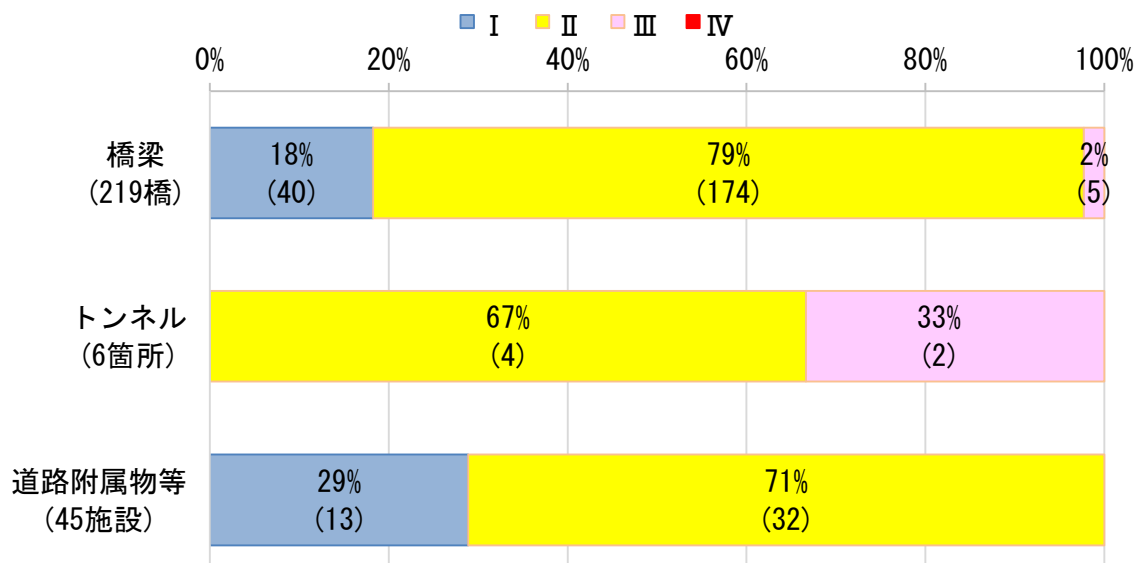


図3-24 2023年度末時点の判定区分の割合（高速道路会社）

※（）内は、2024年3月末時点の施設数のうち、2014～2023年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

3) 県

過年度の点検（2014～2023 年度）における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 36%、Ⅱ 55%、Ⅲ 9%、Ⅳ 0%、トンネル：Ⅰ 0%、Ⅱ 70%、Ⅲ 30%、Ⅳ 0%、道路附属物等：Ⅰ 18%、Ⅱ 72%、Ⅲ 9%、Ⅳ 1%です。

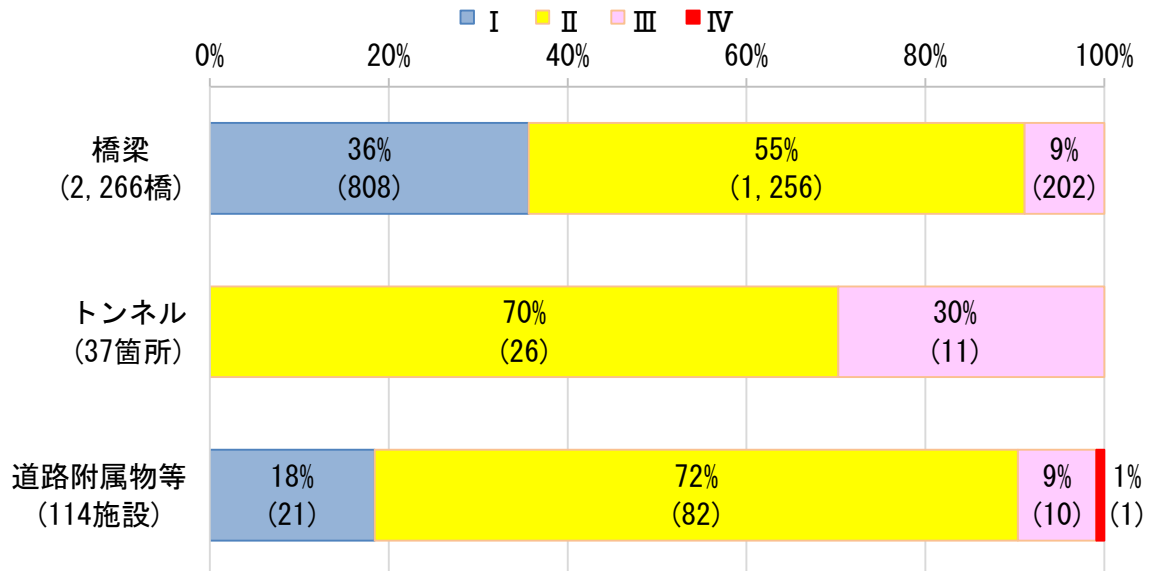


図3-25 2023年度末時点の判定区分の割合（県）

※（）内は、2024年3月末時点の施設数のうち、2014～2023年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

4) 市町村

過年度の点検（2014～2023 年度）における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 43%、Ⅱ 45%、Ⅲ 12%、Ⅳ 0.4%、トンネル：Ⅰ 0%、Ⅱ 100%、Ⅲ 0%、Ⅳ 0%、道路附属物等：Ⅰ 24%、Ⅱ 54%、Ⅲ 22%、Ⅳ 0%です。

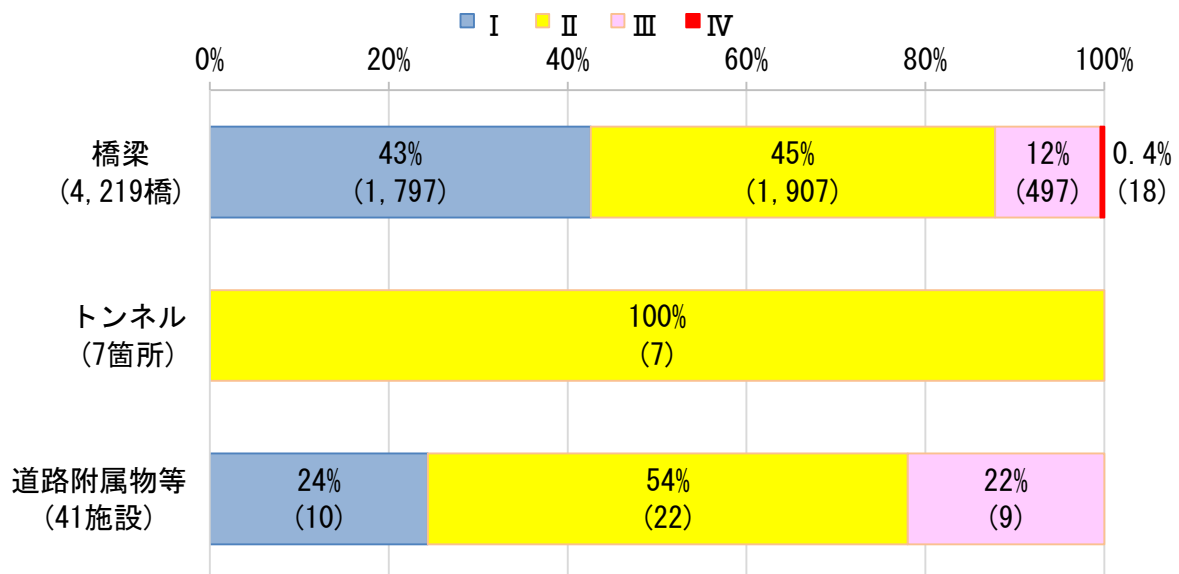


図3-26 2023年度末時点の判定区分の割合（市町村）

※（）内は、2024年3月末時点の施設数のうち、2014～2023年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

4 判定区分Ⅲ、Ⅳの施設の修繕等措置の実施状況

(1) 1巡目点検（2014～2018年度）の実施設における修繕等措置の実施状況

各施設の修繕等措置については、定期点検の判定区分に応じて対策等を行います。

○判定区分Ⅲ

「構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態」と診断された施設は、次回点検まで（5年以内）に措置を講ずることとしています。

○判定区分Ⅳ

「構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態」と診断された施設は、損傷発見後、緊急に措置を講ずることとしています。

1) 判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況（2023年度末時点）

1巡目点検（2014～2018年度）で判定区分Ⅲ、Ⅳと診断された施設の措置着手率（2023年度末時点）は、橋梁 83%、トンネル 100%、道路附属物等 100%となっています。

表4-1 判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕等措置の実施状況（全道路管理者）

	措置が必要な 施設数 A	措置に着手済 の施設数 B (B/A)	措置完了済 の施設数 C (C/A)
橋梁	784	648 (83%)	537 (68%)
トンネル	20	20 (100%)	19 (95%)
道路附属物等	78	78 (100%)	67 (86%)

2024.3 末時点

判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕等措置
(2014～2018)



図4-1 判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕等措置（2014年度～2018年度）

措置着手率 : 措置（設計を含む）に着手した割合(B/A)
措置完了率 : 措置が完了した割合(C/A)

2024.3 末時点

①橋梁

1 巡目点検（2014～2018 年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023 年度末時点で国土交通省 100%、高速道路会社 100%、地方公共団体 81%です。

完了した割合は、国土交通省 95%、高速道路会社 100%、地方公共団体 66%です。

表 4-2 橋梁の判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

管理者	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C※2 (C/A)	点検実施年度	措置実施状況					
					措置着手率(B/A)	措置完了率(C/A)				
国土交通省	38	38 (100%)	36 (95%)	2014	100%	100%				
				2015	100%	100%				
				2016	100%	100%				
				2017	80%	100%				
				2018	100%	100%				
高速道路会社	17	17 (100%)	17 (100%)	2014	100%	100%				
				2015	—	—				
				2016	100%	100%				
				2017	100%	100%				
				2018	100%	100%				
地方公共団体計	729	593 (81%)	484 (66%)	2014	96%	99%				
				2015	64%	90%				
				2016	53%	77%				
				2017	49%	63%				
				2018	41%	59%				
				県	284	284 (100%)	249 (88%)	2014	96%	100%
								2015	78%	100%
								2016	81%	100%
								2017	85%	100%
								2018	63%	100%
市町村	445	309 (69%)	235 (53%)	2014	95%	96%				
				2015	55%	84%				
				2016	47%	72%				
				2017	36%	50%				
				2018	33%	44%				
合計	784	648 (83%)	537 (68%)		68%	83%				

措置着手率 : 措置(設計を含む)に着手した割合(B/A)

措置完了率 : 措置が完了した割合(C/A)

2024.3 末時点

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」は除く。

※1 : 1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設のうち、点検対象外となった施設を除く施設数。

※2 : 2 巡目点検で再度Ⅲ、Ⅳと診断された施設でも、1 巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。

②トンネル

1 巡目点検（2014～2018 年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定されたトンネルのうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023 年度末時点で国土交通省 100%、高速道路会社 100%、地方公共団体 100%です。

完了した割合は、国土交通省 100%、高速道路会社 100%、地方公共団体 94%です。

表 4-3 トンネルの判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

管理者	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C※2 (C/A)	点検実施年度	措置着手率(B/A)		措置完了率(C/A)	
					0%	100%	0%	100%
国土交通省	2	2 (100%)	2 (100%)	2014	0%	100%	0%	100%
				2015	0%	100%	0%	100%
				2016	0%	100%	0%	100%
				2017	0%	100%	0%	100%
				2018	0%	100%	0%	100%
高速道路会社	1	1 (100%)	1 (100%)	2014	0%	100%	0%	100%
				2015	0%	100%	0%	100%
				2016	0%	100%	0%	100%
				2017	0%	100%	0%	100%
				2018	0%	100%	0%	100%
地方公共団体計	17	17 (100%)	16 (94%)	2014	0%	100%	0%	100%
				2015	0%	100%	0%	100%
				2016	0%	100%	0%	100%
				2017	0%	100%	0%	100%
				2018	0%	100%	0%	100%
県	17	17 (100%)	16 (94%)	2014	0%	100%	0%	100%
				2015	0%	100%	0%	100%
				2016	0%	100%	0%	100%
				2017	0%	100%	0%	100%
				2018	0%	100%	0%	100%
市町村	0	0 (—)	0 (—)	2014	0%	100%	0%	100%
				2015	0%	100%	0%	100%
				2016	0%	100%	0%	100%
				2017	0%	100%	0%	100%
				2018	0%	100%	0%	100%
合計	20	20 (100%)	19 (95%)		95%	100%		

措置着手率 : 措置（設計を含む）に着手した割合 (B/A)

2024. 3 末時点

措置完了率 : 措置が完了した割合 (C/A)

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」は除く。

※1 : 1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設のうち、点検対象外となった施設を除く施設数。

※2 : 2 巡目点検で再度Ⅲ、Ⅳと診断された施設でも、1 巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。

③道路附属物等

1 巡目点検（2014～2018 年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された道路附属物等のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023 年度末時点で国土交通省 100%、地方公共団体 100%です。

完了した割合は、国土交通省 83%、地方公共団体 88%です。

表 4-4 道路附属物等の判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

管理者	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち 完了済の施設数 C※2 (C/A)	点検実施 年度	措置着手率(B/A)		措置完了率(C/A)	
					0%	100%	0%	100%
国土交通省	30	30 (100%)	25 (83%)	2014	100%	100%	100%	100%
				2015	100%	100%	100%	100%
				2016	100%	100%	100%	100%
				2017	100%	100%	100%	100%
				2018	17%	100%	100%	100%
高速道路会社	0	0 (—)	0 (—)	2014	—	—	—	—
				2015	—	—	—	—
				2016	—	—	—	—
				2017	—	—	—	—
				2018	—	—	—	—
地方公共団体計	48	48 (100%)	42 (88%)	2014	89%	100%	100%	100%
				2015	—	—	—	—
				2016	—	—	—	—
				2017	—	—	—	—
				2018	75%	100%	100%	100%
県	37	37 (100%)	37 (100%)	2014	100%	100%	100%	100%
				2015	—	—	—	—
				2016	—	—	—	—
				2017	—	—	—	—
				2018	100%	100%	100%	100%
市町村	11	11 (100%)	5 (45%)	2014	50%	100%	100%	100%
				2015	—	—	—	—
				2016	—	—	—	—
				2017	—	—	—	—
				2018	0%	100%	100%	100%
合計	78	78 (100%)	67 (86%)		86%	100%	100%	100%

措置着手率 : 措置(設計を含む)に着手した割合(B/A)

2024.3 末時点

措置完了率 : 措置が完了した割合(C/A)

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」は除く。

※1 : 1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設のうち、点検対象外となった施設を除く施設数。

※2 : 2 巡目点検で再度Ⅲ、Ⅳと診断された施設でも、1 巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。

(2) 2巡目点検(2019~2023年度)の実施施設における修繕等措置の実施状況

① 橋梁

2巡目(2019~2023年度)の点検で早期に措置を講ずるべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずるべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023年度末時点で国土交通省94%、高速道路会社40%、地方公共団体40%です。

完了した割合は、国土交通省44%、高速道路会社40%、地方公共団体17%です。

表4-5 橋梁の判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

管理者	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C (C/A)	点検実施年度	措置着手率(B/A) 措置完了率(C/A)	
					措置着手率(B/A)	措置完了率(C/A)
国土交通省	34	32 (94%)	15 (44%)	2019	57%	100%
				2020	33%	100%
				2021	56%	100%
				2022	43%	100%
				2023	0%	
高速道路会社	5	2 (40%)	2 (40%)	2019	—	—
				2020	100%	100%
				2021	—	—
				2022	100%	100%
				2023	0%	
地方公共団体計	710	285 (40%)	123 (17%)	2019	39%	61%
				2020	24%	61%
				2021	16%	47%
				2022	7%	21%
				2023	0%	6%
県	202	118 (59%)	61 (30%)	2019	65%	98%
				2020	41%	85%
				2021	29%	69%
				2022	17%	43%
				2023	0%	2%
市町村	508	167 (33%)	62 (12%)	2019	26%	44%
				2020	17%	51%
				2021	13%	40%
				2022	4%	13%
				2023	0%	9%
合計	749	319 (43%)	140 (19%)		19%	43%

措置着手率 : 措置(設計を含む)に着手した割合(B/A)

2024.3末時点

措置完了率 : 措置が完了した割合(C/A)

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」は除く。

※1: 2巡目(2019~2023年度)の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

② トンネル

2 巡目（2019～2023 年度）の点検で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と診断されたトンネルのうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023 年度末時点で国土交通省 100%、高速道路会社 100%、地方公共団体 82%です。

完了した割合は、国土交通省 0%、高速道路会社 0%、地方公共団体 64%です。

表 4-6 トンネルの判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

管理者	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C (C/A)	点検実施年度	措置着手率(B/A)		措置完了率(C/A)	
					0%	100%	0%	100%
国土交通省	1	1 (100%)	0 (0%)	2019	0%	100%	0%	100%
				2020	—	—	—	—
				2021	—	—	—	—
				2022	—	—	—	—
				2023	—	—	—	—
高速道路会社	2	2 (100%)	0 (0%)	2019	—	—	—	—
				2020	—	—	—	—
				2021	0%	100%	—	—
				2022	—	—	—	—
				2023	—	—	—	—
地方公共団体計	11	9 (82%)	7 (64%)	2019	50%	100%	50%	100%
				2020	—	—	—	—
				2021	86%	86%	86%	86%
				2022	0%	50%	0%	50%
				2023	—	—	—	—
県	11	9 (82%)	7 (64%)	2019	50%	100%	50%	100%
				2020	—	—	—	—
				2021	86%	86%	86%	86%
				2022	0%	50%	0%	50%
				2023	—	—	—	—
市町村	0	0 (—)	0 (—)	2019	—	—	—	—
				2020	—	—	—	—
				2021	—	—	—	—
				2022	—	—	—	—
				2023	—	—	—	—
合計	14	12 (86%)	7 (50%)		50%	86%	50%	86%

措置着手率 : 措置（設計を含む）に着手した割合(B/A)

2024. 3 末時点

措置完了率 : 措置が完了した割合(C/A)

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」は除く。

※1：2 巡目（2019～2023 年度）の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

③ 道路附属物等

2 巡目（2019～2023 年度）の点検で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と診断された道路附属物等のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023 年度末時点で国土交通省 100%、地方公共団体 85%です。

完了した割合は、国土交通省 71%、地方公共団体 25%です。

表 4-7 道路附属物等の判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

管理者	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C (C/A)	点検実施年度	措置着手率(B/A)		措置完了率(C/A)	
					0%	100%	0%	100%
国土交通省	24	24 (100%)	17 (71%)	2019	—	—	—	—
				2020	—	100%	100%	100%
				2021	—	100%	100%	100%
				2022	—	80%	100%	100%
				2023	—	0%	100%	100%
高速道路会社	0	0 (—)	0 (—)	2019	—	—	—	—
				2020	—	—	—	—
				2021	—	—	—	—
				2022	—	—	—	—
				2023	—	—	—	—
地方公共団体計	20	17 (85%)	5 (25%)	2019	—	33%	100%	100%
				2020	—	—	—	—
				2021	—	0%	100%	100%
				2022	—	0%	100%	100%
				2023	—	25%	25%	—
県	11	8 (73%)	2 (18%)	2019	—	33%	100%	100%
				2020	—	—	—	—
				2021	—	0%	100%	100%
				2022	—	0%	100%	100%
				2023	—	25%	25%	—
市町村	9	9 (100%)	3 (33%)	2019	—	33%	100%	100%
				2020	—	—	—	—
				2021	—	—	—	—
				2022	—	—	—	—
				2023	—	—	—	—
合計	44	41 (93%)	22 (50%)			50%	93%	

2024.3 末時点

措置着手率 : 措置(設計を含む)に着手した割合(B/A)

措置完了率 : 措置が完了した割合(C/A)

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」は除く。

※1 : 2 巡目（2019～2023 年度）の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

(3) 過年度の点検（2014～2023 年度）の実施施設における修繕等措置の実施状況

① 橋梁

過年度の点検（2014～2023 年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023 年度末時点で国土交通省 94%、高速道路会社 40%、地方公共団体 40%です。

完了した割合は、国土交通省 44%、高速道路会社 40%、地方公共団体 17%です。

表 4－8 橋梁の判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

管理者	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数		未着手 施設数 D (D/A)
		B (B/A)	うち完了 C (C/A)	
国土交通省	34	32 (94%)	15 (44%)	2 (6%)
高速道路会社	5	2 (40%)	2 (40%)	3 (60%)
地方公共団体計	717	286 (40%)	124 (17%)	431 (60%)
県	202	118 (58%)	61 (30%)	84 (42%)
市町村	515	168 (33%)	63 (12%)	347 (67%)
合計	756	320 (42%)	141 (19%)	436 (58%)

2024.3 末時点

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」は除く。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※1：2023 年度末時点の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

②トンネル

過年度の点検（2014～2023年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定されたトンネルのうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023年度末時点で国土交通省 100%、高速道路会社 100%、地方公共団体 82%です。

完了した割合は、国土交通省 0%、高速道路会社 0%、地方公共団体 64%です。

表 4-9 トンネルの判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

管理者	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数		未着手 施設数 D (D/A)
		B (B/A)	うち完了 C (C/A)	
国土交通省	1	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)
高速道路会社	2	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)
地方公共団体計	11	9 (82%)	7 (64%)	2 (18%)
県	11	9 (82%)	7 (64%)	2 (18%)
市町村	0	0 (—)	0 (—)	0 (—)
合計	14	12 (86%)	7 (50%)	2 (14%)

2024.3 末時点

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」は除く。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※1：2023年度末時点の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

③道路附属物等

過年度の点検（2014～2023年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と診断された道路附属物等のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023年度末時点で国土交通省 100%、地方公共団体 85%です。

完了した割合は、国土交通省 71%、地方公共団体 25%です。

表 4-10 道路附属物等の判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

管理者	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数		未着手 施設数 D (D/A)
		B (B/A)	うち完了 C (C/A)	
国土交通省	24	24 (100%)	17 (71%)	0 (0%)
高速道路会社	0	0 (—)	0 (—)	0 (—)
地方公共団体計	20	17 (85%)	5 (25%)	3 (15%)
県	11	8 (73%)	2 (18%)	3 (27%)
市町村	9	9 (100%)	3 (33%)	0 (0%)
合計	44	41 (93%)	22 (50%)	3 (7%)

2024.3末時点

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」は除く。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

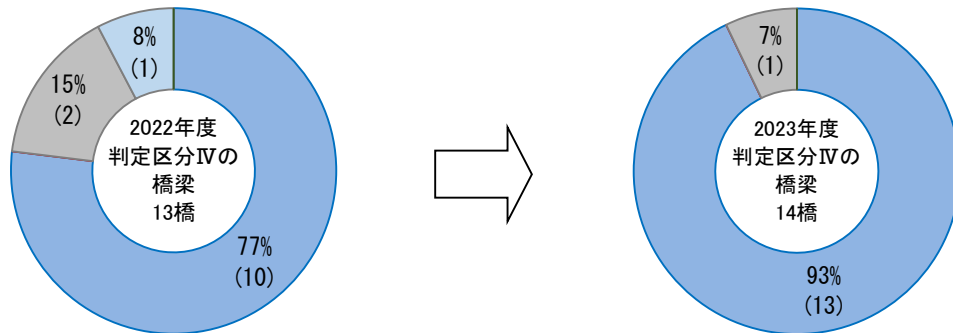
※1：2023年度末時点の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

(4) 判定区分Ⅳの施設の措置状況

2023年度末時点で判定区分Ⅳと診断された橋梁は、2022年度末時点の13橋から14橋に増加し、内13橋は修繕・架替、1橋は対応未定となっています。またトンネル及び道路附属物等が、2023年度末時点で判定区分Ⅳと診断された施設はありません。

○判定区分Ⅳの橋梁の措置状況(予定含む)

■ 修繕・架替 ■ 機能転換 ■ 対応未定 ■ 撤去・廃止中(予定含む) ■ 撤去・廃止済等



(5) 修繕等措置の取り組み事例

① 判定区分Ⅱの修繕事例（橋梁）

施設名：かみひらかわぼし 上平川橋 上り線
 管理者：東日本高速道路(株) 東北支社
 路線名：東北自動車道
 位置：青森県平川市
 建設年：1979年（昭和54年）
 主な損傷：床版の損傷



床版下面劣化状況



床版取替状況



床版取替後

施設名：ふどうがわぼし 不動川橋 上り線
 管理者：東日本高速道路(株) 東北支社
 路線名：東北自動車道
 位置：青森県平川市
 建設年：1980年（昭和55年）
 主な損傷：床版の損傷



床版下面張出部劣化状況



床版取替状況



床版取替後

②判定区分Ⅲの修繕事例（橋梁）

施設名：奥薬研^{おくやげん}12号橋^{ごうきょう}
 管理者：青森県
 路線名：県道薬研佐井線
 位置：青森県むつ市
 建設年：1969年（昭和44年）
 主な損傷：主桁の腐食



【全景】奥薬研12号橋



【損傷】主桁の腐食



【対策】塗装塗替え

施設名：ドンドン坂橋^{さかばし}
 管理者：八戸市
 路線名：市道島守不習線
 位置：青森県八戸市
 建設年：1985年（昭和60年）
 主な損傷：支承の腐食



【全景】ドンドン坂橋



【損傷】支承の腐食



【対策】支承防錆（金属溶射）

施設名：^{はちまんぐうはし}八幡宮橋
 管理者：五所川原市
 路線名：市道八幡宮1線
 位置：青森県五所川原市
 建設年：1992年（平成4年）
 主な損傷：主桁の腐食（塗装）



【全景】八幡宮橋



【損傷】主桁の腐食



【対策】塗装塗替え

施設名：^{くろいしばし}黒石橋
 管理者：東日本高速道路(株) 東北支社
 路線名：東北自動車道
 位置：青森県黒石市
 建設年：1979年（昭和54年）
 主な損傷：床版下面のはく落
 （浮き、鉄筋露出）



【全景】黒石橋



【損傷】浮き、はく落



【対策】断面修復及び表面保護工

施設名：^{なんごうばし}南郷橋
 管理者：東日本高速道路(株) 東北支社
 路線名：八戸自動車道
 位置：青森県八戸市
 建設年：1978年（昭和53年）
 主な損傷：橋台前面に浮き
 （剥離、剥落、鉄筋露出）



【全景】南郷橋



【損傷】橋台前面に浮き
（剥離、剥落、鉄筋露出）



【対策】断面修復

③判定区分Ⅳの修繕事例（橋梁）

施設名：^{もりやまおほし}森山大橋
 管理者：大鰐町
 路線名：町道鯖石森山線
 位置：青森県南津軽郡大鰐町
 建設年：1974年（昭和49年）
 主な損傷：支承の腐食・変形



【全景】森山大橋



【損傷】支承の腐食・変形



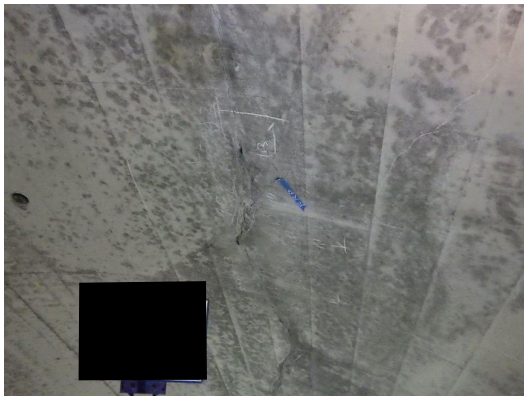
【対策】支承取替

④判定区分Ⅲの修繕事例（トンネル）

施設名：板留^{いたどめ}トンネル
 管理者：青森県
 路線名：国道102号
 位置：青森県黒石市
 建設年：1980年（昭和55年）
 主な損傷：クラック



【全景】板留トンネル



【損傷】クラック



【対策】金網・ネット

⑤判定区分Ⅲの修繕事例（横断歩道橋）

施設名：枇把野^{びわの}横断歩道橋^{おうだんほどうきょう}
 管理者：東北地方整備局
 青森河川国道事務所
 路線名：国道4号
 位置：青森県上北郡野辺地町
 建設年：1978年（昭和53年）
 主な損傷：主桁、横桁、蹴上げの
 変形・欠損、腐食



【全景】枇把野横断歩道橋



【損傷】階段蹴上げの腐食、変形・欠損



【対策】床版変形補修

5 道路メンテナンス会議の取り組み

青森県道路メンテナンス会議は、インフラの老朽化対策が社会的な課題となり、橋梁・トンネル等の定期的な点検がスタートした2014年度に、技術力の向上、インフラの長寿命化の推進、さらには道路インフラの維持管理についての情報共有や課題解決への連携と効率的な道路管理を行っていくことを目的に、県内の道路管理者が一体的な連携を図るための組織として設置されました。

特に市町村では、道路構造物の維持管理について技術的なノウハウや土木技術系職員の不足といった課題がある中で、道路インフラを適正に維持管理していくことが重要であるため、青森県道路メンテナンス会議では、市町村の技術的支援に重点をおいた活動等を展開しています。



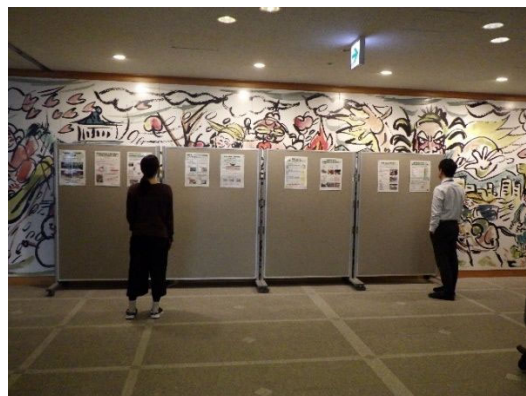
橋梁定期点検研修状況



橋梁補修施工管理研修状況



橋梁点検技術講習会
(全方向水面移動式ボート型ドローン)



パネル展状況
(青森県庁)

青森県道路メンテナンス会議（構成機関）

青森県県土整備部道路課	中泊町環境整備課
青森市都市整備部	野辺地町建設水道課
弘前市建設部	七戸町建設課
八戸市建設部	六戸町建設下水道課
黒石市建設部	横浜町建設水道課
五所川原市建設部	東北町建設課
十和田市建設部	六ヶ所村建設課
三沢市建設部	おいらせ町地域整備課
むつ市都市整備部	大間町生活整備課
つがる市建設部	東通村建設課
平川市建設部	風間浦村産業建設課
平内町地域整備課	佐井村産業建設課
今別町産業建設課	三戸町建設課
蓬田村建設課	五戸町建設整備課
外ヶ浜町建設課	田子町建設課
鯨ヶ沢町建設水道課	南部町建設課
深浦町建設水道課	階上町建設課
西目屋村建設課	新郷村建設課
藤崎町建設課	東日本高速道路(株)東北支社
大鰐町建設課	青森県道路公社道路部
田舎館村建設課	東北地方整備局道路部
板柳町地域整備課	東北地方整備局青森河川国道事務所
鶴田町建設整備課	(財)青森県建設技術センター(オブザーバー)

会 長 東北地方整備局青森河川国道事務所長
副 会 長 青森県県土整備部道路課長
事 務 局 青森県県土整備部道路課
東北地方整備局道路部
東北地方整備局青森河川国道事務所
東北地方整備局東北技術事務所
東北地方整備局東北道路メンテナンスセンター

問い合わせ窓口(事務局)

- | |
|---|
| ○東北地方整備局青森河川国道事務所 メンテナンス担当
電話017-734-4521(内線302、403) |
| ○青森県県土整備部道路課 橋梁・アセット推進グループ メンテナンス担当
電話017-734-9658(直通) |